

会 議 議 事 録

		記 録 者	係長 関ヶ原 功		
供 覧	部長	課長	補佐	係長	課員
件 名	平成27年度第2回龍ヶ崎市総合教育会議				
日 時	平成27年7月22日（水） 午後1時30分から				
場 所	市役所5階 第1委員会室				
主 催	中山一生市長（事務局：企画課地域戦略グループ）				
出席者	<p>中山市長，斎藤教育委員長，高橋教育委員長職務代理者，鈴木委員，大野委員，藤後教育長</p> <p>宮川企画課長，大貫課長補佐，記録者 荒井教育部長，足立教育総務課長，中村教育総務課長補佐，岡野係長，近野係長，黒田生涯学習課長，小貫指導課長，北澤スポーツ推進課長，大和田給食センター所長，辻井教育センター所長</p>				
欠席者	0人				
傍 聴	0人				
議 題	1 開 会 2 市長あいさつ 3 議 題 (1) 教育大綱の素案について 4 その他 5 閉 会				
情報公開	公開	非公開（一部公開を含む） とする理由		（龍ヶ崎市情報公開条例9条 号 該当）	
	部分公開 非 公 開	公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）		年	月 日

事務局	<p>定刻となりましたので、ただいまから平成27年度第2回龍ヶ崎市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>当会議は原則公開で行われますが、本日の傍聴人はございませんので、御報告申し上げます。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、中山市長より御挨拶を申し上げます。</p>
中山市長	<p>皆さん、改めましてこんにちは。</p> <p>全国的に猛暑が続いております。関東地方も梅雨明けをしまして、龍ヶ崎も今日も暑い日になっておりますが、教育委員の皆様におかれましては、第2回龍ヶ崎市総合教育会議に御出席をいただきまして誠にありがとうございます。前回、第1回総合教育会議を開催してから、本日でちょうど3か月が経過したところでございます。その間の龍ヶ崎市政の主な動向であります。平成27年第2回龍ヶ崎市議会定例会が6月12日から6月24日を会期として、開会しておりました。</p> <p>教育委員の皆様におかれましても、新聞等の報道で、既に御存知のことと思いますが、龍ヶ崎市の玄関口となるJR常磐線佐貫駅の駅名改称に関しまして、大変活発な議論があったところでございます。少しお時間を頂いて、駅名改称の背景目的などお話をさせていただきます。</p> <p>我が国においては、人口減少社会を迎え、少子高齢化や人口の減少が、龍ヶ崎においても顕在化してきているところでございます。これに伴う、まちの活力や、地域コミュニティの衰退など、様々な課題が山積しているものと認識しております。このようなことから私はこれからの龍ヶ崎市のまちづくりを考える中で、市民の方が住みよい、住み続けたいまちとして、思ったり感じたりすることができるよう、龍ヶ崎市への愛着や誇りの醸成を促進する必要があると思っていますところでございます。</p> <p>つまり、全市民が一体となって龍ヶ崎市のアイデンティティを確立していくこと、そしてその思いや本市の環境を市外に広く発信し、我がまち龍ヶ崎をPRし、選ばれるまちとして、定住を促進していくことが、大変重要になるものと考えているところでございます。</p> <p>このため本市の地方創生の取組の一環として、JR常磐線に龍ヶ崎という自治体名を冠した駅名に改称することで、龍ヶ崎市民が愛する駅名でオール龍ヶ崎という市民に一体感の醸成に寄与し、市民が自分たちの駅と感じて愛着を持てる、そのような形で、本市の認知度の向上にもつながっていくものと考えているところでございます。</p> <p>教育委員会の皆さんのいる席でも話しましたが、駅は出会いと別れの場所でもございます。旅立ちの場所でもあるので、これから龍ヶ崎市民が、学校に進学したり、就職して、まちから、就職先に通勤するのもそうですが、旅立っていくときに、やはり龍ヶ崎の名前の付いた駅から旅立って行ってほしい。さらには、このふるさと龍ヶ崎に帰って来るときには、龍ヶ崎の駅に帰って来ているという意識を持っていただきたいというのもお願いの一つでございます。</p> <p>今回の駅名改称を始めとした地方創生の取組が、本市の将来を開いていくものと確信をしておりますし、勇気を持って進めているところでもございますので、教育委員の皆様におかれましても、引き続き龍ヶ崎市政への御理解・御協力をお願い申し上げます。</p> <p>さて、本日の総合教育会議の方に話を戻させていただきます。龍ヶ崎市の教育大綱の素案について、御協議をいただきたいと思いますと考えております。教育委員会制度改正に伴い、茨城県を始め、県内外の市町村において総合教育会議が開催されているところでございます。また、総合教育会議を開催し、既に、教育大綱を策定している市町村も見受けられます。ただし、現時点において教育大綱を策定し</p>

	<p>ている市町村は、既存の教育振興基本計画や、網羅的・総花的な総合計画を原案として教育大綱に置き換えているところです。</p> <p>龍ヶ崎市においては、これらの市町村とは異なり、また、次期戦略プランはこれから策定するところであることから、ある意味白紙のキャンパスにこれから龍ヶ崎市の教育に関するビジョン、絵を描いていくようなイメージで捉えております。</p> <p>さらに、先ほど申し上げました、選ばれるまちとして我がまちを選んでいただく理由として、龍ヶ崎市の教育が素晴らしいからと言っていただけるようなビジョンを描き、実行し、成果を上げていくことが総合教育会議の目的に相通じるものであると信じているところでございます。</p> <p>このため、本日の総合教育会議では、龍ヶ崎市の教育の基本理念や基本目標などについて、しっかりと御意見を交えまして、これからの龍ヶ崎市の教育ビジョンを描く、第一歩となりますことを心から期待を申し上げまして、挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは早速議事に入りたいと思います。議事進行につきましては、主催者でございます、中山市長にお願いをしたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
中山市長	<p>議事進行の役目を着座のままで恐縮ですが、務めさせていただきますので、御協力よろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日の議題であります、会議次第にもございますように、教育大綱の素案について、皆様に御協議いただきたいと思っております。また、本日の会議時間については、3時に終了を予定しておりますので、委員の皆様には、会議の円滑な進捗につきましても、併せて御協力をお願い申し上げます。</p> <p>始めに、議題1の教育大綱の素案について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料に基づき説明)
教育総務課	(資料に基づき説明)
中山市長	<p>ただいま、教育大綱の素案について、資料の説明がございました。</p> <p>今の説明の内容につきまして、御意見御質問等がありましたらお願いします。</p>
大野委員	<p>確認ですが、前回も話したことかと思いますが、教育プランの前編と後編ということで、年度的には何年というように分かれていましたか。策定期間が平成28年度いっぱい、教育プラン自体が前編と後編とがあって、前編を何年までとか、期間はありますか。</p>
中山市長	事務局、お願いします。
事務局	<p>前編、後編の意味は、前編が何年度ということではなくて、全般的な目標を定めた教育大綱が前編でありまして、それに基づく具体的な施策等が後編に入るといったイメージでございます。</p>
大野委員	<p>年度的にいつまでが前編だということはないんですね。分かりました。</p>
中山市長	<p>他にございますか。いきなり素案ということで出されても、急に、何か御意</p>

<p>大野委員</p>	<p>見と言われても困る部分もあると思いますが、何かこの素案に関することも含めてですけれども、皆さんのお考えがあれば、せっきくの機会ですので、この場で述べていただければと思います。はい、大野委員、お願いします。</p> <p>全体的なイメージで先ほどいろいろ説明された中で、30代から50代未満の方が、これまでの施策等にやや不満を持っているというアンケート結果が出ていたことと、教育委員会が所管する項目のうち若者が健全に育つ環境が、最も優先的に取り組んで欲しい項目となったということと、青少年の健全育成ということも、不満度がポイント的にかなり「満足」と「不満」との差が大きかったということを考えてみたら、やはり小中学校関係の教育関係は、龍ヶ崎は結構力を入れていると思います。それに関わる人たちが、当該児童たちの保護者であったり、又は退職された地域の方が教育現場で活躍してくれているという印象を持っています。やはりその働き盛りの30代から50代の方が、不満を持っているということは、その世代に対する事業的なものが足らなかったのか、又は先ほど市長が一番最初に言った駅名変更が龍ヶ崎市ということでPRしていこうということで、やはり働き世代の方は、龍ヶ崎市に企業が少ないということと、都内への通勤圏内ということで、それらの世代が日中は龍ヶ崎を離れている状態だと思っています。</p> <p>そこで、駅名変更は賛成ですが、通勤又はいろいろな面で、取手駅のように快速の始発着にしたり、できるような環境も進めているとは思いますが、そういったことも力を入れた方が、30代から50代の世代の方は、龍ヶ崎に住んで、子育てをしようということになると思います。若い人が住まない、やっぱり子どもたちも増えないですね。</p> <p>この統計を見ても減少傾向なので、子育て日本一といっても、子どもが減っていく環境では、駄目だと思います。子育て日本一を目指すのであれば、子どもが増えるような環境づくりをしないといけないと思います。少子化は全国的なものなので、しょうがないとは思いますが。</p> <p>子どもたちに住みよい環境を作るということを入れることと、そのためには、働き盛りの世代にこの龍ヶ崎に住んでもらいたいということを感じました。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>他の計画との整合性という話もありましたが、戦略プランや、総合戦略と連携した教育プランにしていかなければならないという話なのかなと思いましたが、横長の資料の一番最後のページにアンケートの結果が記載してありますが、一番不満度が高いのは、公共交通機関の利便性となっております。やはりこれは龍ヶ崎市の場合は、通勤者の皆さんが多いという特性もございますので、これは重点課題の一つだと思っております。</p> <p>その上で、利便性に加えて働く場所の確保なども、今回の地方創生の取組などを通して、市の政策としては進めていかなければならないと思っておりますし、駅名はシンボリックな一つの取組であると思っております。通勤者、子育て世代というのは、おそらく要望も高いのだと思います。その要望にいかにか答えていくかが、これからの教育の大綱の中でも、課題の一つになっていくと思っております。</p> <p>事務局、何かありますか。お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>教育とは直接関係ないかもしれませんが、地方創生という形で、力を入れるべきものとして、出会いがないということが、一番大きな原因でありまして、全体として男性も女性も30代を過ぎても独身の方が多いです。</p> <p>先日セミナーがございまして、地方創生を唱えました増田前総務大臣のお話を聴いてきましたが、フランスや、欧米、北欧では、事実婚というものがあり、</p>

<p>中山市長</p>	<p>結婚していなくても子どもを産んで、きちんと育てられる環境が整っています。ただ、日本の場合には98パーセントが結婚をしないと子どもが出来ないという現実があるということから、確かに働く世代の人の環境整備なども大切ですが、まず、子どもが生まれなければ何も始まらないというところから、出会いの場の創出も地方創生では、非常に大切であるというお話もされていましたので、そのようなことも地方創生の中にはあると感じております。</p> <p>はい。本当に今、いわゆる自然減、少子化というのが、日本の国の存亡に関わるような大問題だといつも申し上げてるのですが、その中で、少子化の流れを少しでも食い止めるということが、地方創生の一つの趣旨でもあると思いますので、子どもを作りたいと思える龍ヶ崎にしていかなければならないという意味の御質問でもあったと思います。</p> <p>それは一つは、龍ヶ崎の教育委員会の教育の内容は、私はおそらく他市に比べても大変魅力的な教育をされているのではないかなと思いますので、それは、来てみないと分からない部分もありますので、やはりそれもPRをしていく中で、更に魅力的なものに磨きをかけていくというのが、これからの取組としては必要だと思いますし、その発信力なども、この大綱には、場合によってはいかに盛り込んでいくかということがテーマになってくる気もしますので、発信をしながら、自らも成長していくというのが大事なのかなと思っています。</p> <p>十分な答弁になってなかったと思いますけども、何か他にあれば、皆さん自由に発言していただければと思います。高橋委員、お願いします。</p>
<p>高橋教育委員長職務代理者</p>	<p>教育大綱のお話とかぶっているところになりますが、まず、頂いた資料からすると、教育大綱の素案というものが、実際は素案ではなくて、ぼやっとしたもので、ここに意見やコメントを述べる状態にまだないと理解しております。もうちょっと見やすいものを作っていただくたたき台なのだろうと思いますが、資料の中で、A市のものがかなり近くなるのではないかとということですが、他の資料を見比べますと、正直なところ、4つの市のどの資料を見ても、読みにくいし、中身も分かりにくいです。</p> <p>先ほどからお話に出ているように、発信する一つの資料であって、この大綱はおそらく市のホームページなどに掲載され、他市町村の方も見られるような状態になるということを考えると、やはり読んでみて、分かりやすいものにしていただきたいと思います。</p> <p>具体的には、教育委員会で毎年作っている指導方針のように見開きになっている形の方が見ても分かるし、目次のような形で羅列されていても分かりにくいので、次のページに詳細が書かれていますが、A市のように最初から全部べた書きしてあると、どこに何が書いてあるのか分かりにくいところがあります。</p> <p>アピールするものの一つと考えれば、中身も当然大事ですが、見た目も大事にさせていただいて、この4つからすると、B市は比較的に見やすいですが、龍ヶ崎市のオリジナリティを出しながら、形を早く作って見せていただきたいと思います。以上です。</p>
<p>中山市長</p>	<p>今の御意見に関して何かありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そのように心掛けて作成させていただきたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
<p>中山市長</p>	<p>言葉は違いますが、目指すところはそんなに大きく違わないと思いますので、言葉の使い方というテクニカルな話になってしまうかもしれませんが、</p>

<p>齋藤教育委員長</p>	<p>見せ方も大事だと思います。</p> <p>龍ヶ崎は、特徴があると言ってもらえるような、どこの市も同じようなことを考えると思いますが、龍ヶ崎らしさを出せるとよいと思っております。</p> <p>具体的にはまだ言えませんが、ぜひ、皆さんで知恵を出し合って、そのようなものに近付けていけばよいと思っております。他にございますか。</p> <p>これから具体的な形になっていくと思いますが、例えば教育大綱の中で基本方針が5つという形で今の段階で出ております。これを見ると、例えば義務教育の充実というのは、この1本だけで相当中身があると思います。果たしてこれでいいのか。大枠で見て、今までを振り返ると、いろいろな事業名は相当入ってきます。そういう面で、どう整理していくか考えていく必要があると思います。</p> <p>総括をしたときに、義務教育の充実は満足度が高いということですが、とても幅広く見ていますよね。だから、他と比べたらどうなのかなと思います。</p> <p>アンケートの満足度、不満足度が果たしてこれで一概に言えるのかどうか。細かい部分で見ると、かなり差があるのではないかと思います。この幅広い部分をどのように整理したらいいのか、分かりやすくしていくのかということをおもいました。</p> <p>それと、義務教育の充実という言葉にすれば、小学校、中学校という形で考えますよね。そうすると、就学前の子どもたち、家庭というものはここに入ってこれないのか。小学校に入る前の段階の子どもとか、家庭教育は大事にされるべきだという思いがあります。こういうことも工夫されると義務教育以前の教育として、この中に含んでいくことも可能なのかなと、この案を見ながら感じた次第でございます。</p>
<p>中山市長 教育総務課</p>	<p>はい、これに関して何かありますか。</p> <p>今、頂いた御意見のとおり、義務教育に関する取組はかなり多い状態でございます。このために現在は案として考えている状態ですが、義務教育に関する大きな柱のある中で、細分化をいくつかしまして、具体的な事業を整理をしていきたいと考えております。義務教育とその他生涯学習、青少年の健全育成、スポーツの推進、文化芸術の振興と比べたときに、感覚的ですが、おそらく半分は義務教育の充実に該当すると考えております。</p> <p>この基本方針を踏まえて、具体的な施策であったり、その施策に基づく事業になるとときにはそういったバランスなども考えたいと思っております。</p> <p>また、小学校と中学校が義務教育で、その前の幼稚園、保育園につきましては、こども課で定めている子ども子育て支援事業計画もありますので、その部分も踏まえて検討させていただきたいと思っております。</p>
<p>中山市長</p>	<p>教育という意味では一貫性を持たせて、義務教育の未就学の子どもたちの教育というのは、大綱の中では、しっかりと柱として立てていかなければならないと思っておりますので、その計画との整合性を含めた中で、触れていけないとならない部分だとは思っております。他にございますか。鈴木委員、お願いします。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>今回の資料を拝見しますと、市民アンケートを基に、民意をエビデンスとしての大綱を作成したいということだと思ひまして、これは民意を反映するということが非常に良いものが出来上がるのではないかとおぼひつつ、このアンケートの結果を眺めておひまして、ただ、必ずしも民意が正しいものかどうかということではないというところが見えてくるかと思ひます。</p>

<p>中山市長</p>	<p>例えば、先ほどからあります子育てで日本一ということで、御説明にあったフランスの例のように、伝統的な男女平等ということではない、新しい価値感の男女平等を求められないと、今後の子育ての環境は充実しないという御意見もありましたので、例えば、この14番の「男女平等意識をはぐくみ」についてですと、市民感覚としては、それほど重要ではない。</p> <p>ただ、市民が果たして求められているような男女共同参画という意味で、本市がうまくいっているのかということろまでは、データ上でよく分かりませんので、仮にその民意を反映するということろで、どこまでを民意として盛り込んでいくのか。あるいは、民意に逆らってでもこれは推し進めたいところも出てくるのかということろを御質問させていただきます。</p> <p>確かにアンケートというのは、ある意味視点を変えてみると、違う意味が出てきたり、難しいところがありますので、これは、単純に評価しただけでは、読み切れてないところがあると思いますので、アンケートは参考にしながら、民意の傾向を見ながら進めていくということは大事だと思っておりますけれども、例えば、私がいつも例を出すのは、増税をするときにアンケートを取って賛成する人はほとんどいないわけですので、それでも国の財政や自治体の財政をやるときには、増税もやむなしとして、進めていかなければならないこともあります。子育て世代は、どうしても仕事でも忙しかったり、要望が高い人たちが多いのではないかと思います。</p> <p>それを全て酌み取れるかどうかというのは、また別の問題だと思いますので、こういうことはないと思いますが、ない物ねだりをしてしまったりするときに、出来る、出来ないという判断を迫られるときもあると思いますので、そういう逆の視点もありますし、市が例えばこの総合教育会議で必要だと考えたことは、我々が自信を持って進めていかなければならない場合もあると思っておりますので、それが、我々の役割でもあると思っております。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>このアンケートの結果ですと、重点的に取り組んで欲しい項目で、縦線、横線、X軸、Y軸で重要度は分かりますが、これとは別で、満足、不満を聴いているということでしょうか。左側だけで見ますと、満足、不満の軸が分からなかったのです。</p>
<p>教育総務課</p>	<p>こちらは鈴木委員が言われたとおり、資料の7ページの左側が、特に龍ヶ崎に取り組んで欲しいというものが、右のグラフの重要度の縦軸に当たります。この質問項目全部1から49まである中で、それぞれに対して、満足、不満の答えが別にございます。その中から抜粋したものが、今回の教育委員会に関連するところが1ページから6ページまでに載せているところでございます。</p> <p>例としまして、「満足している」のゾーンに入っています、8番の「小中学校の教育内容・施設」。12番の「体を動かし、スポーツやレクリエーションに親しむ機会・施設」については、この資料でいうと1ページのところで、平成26年度の今回調査では、「満足している」「やや満足」という満足度が「やや不満」「不満」よりも上回っているのです、右側の満足しているゾーンに入っていて、逆に「満足している」と回答している方より、「不満」と回答した方が多いものが、11、10、13です。教育に関することはこの5つであります、全部に対して同じ「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」と答えているものもございますので、そういったものを一覧にしたものが、右側のグラフで示しています。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>

<p>中山市長</p>	<p>他に何かございますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>この市民アンケートの全般的なお話ですが、やはりどうしても回答してくださる方の年齢層が、高齢者の方の回答率が高くて、若い世代の回答率が低いということが基本的にありまして、この結果になっていますので、その辺も十分に考慮して施策はしないといけないと企画課の方でも感じております。</p>
<p>中山市長</p>	<p>無作為抽出とは言いながら、満足してる人は場合によってはスルーしてしまっ、不満に思っている人が書き込んで出すという傾向は確かにあると思います。世論調査のような形であればまた違うのかなと思いますが、アンケート調査は意外とバイアスがかかってしまうこともあるかもしれません。その辺もしっかりと受け止めながら、結果を見ていかなければならないので、その傾向は、事務局も一つ一つ判断するときには、その傾向をお知らせいただければと思います。他にありますか。教育長、お願いします。</p>
<p>藤後教育長</p>	<p>斎藤委員長から話がありました、幼児教育というのは非常に重要だとは思いますが、龍ヶ崎市の場合、民でお願いしている部分なので、行政としては、なかなか関わりづらい部分があると思います。幼稚園、それから認定こども園等も民でお願いしているわけで、そういった難しさがあるかなと思います。それは重要なことには間違いない。あと、最近の子どもが中心になってしましますが、学童保育ルームで一番保護者の要望が多いのは、宿題を見て欲しいということです。学童保育だけど、宿題を見て欲しいと。</p> <p>ただ、行政としてやらなければならないこともありますし、保護者の要望も聴かないといけない部分もあるので、そういった難しさがあるかなと思いますが、子どもを育てていくときに、学力とか勉強とか宿題とか、そういうところに保護者の目線が行ってしまっていて、この人づくりの部分について、若干、意識としてはあるのかもしれないけど、表立って出てこないと思うので、こういう大綱を作るときに、その一点だけ見ないで、広い見方で作っていかないといけないのかなと思っています。</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>いわゆる幼児教育と言われている部分は今おっしゃられたとおり、龍ヶ崎は昔から幼稚園が民間で、公立がなかったという歴史がありますので、その点は、なかなか計画に載せても、協力をしてもらう段階で、公立のような形にはならないところがありますけれども、基本理念、大綱の部分で、義務教育、生涯学習を含めた目指す方向性は、幼児教育から一貫して持たせるということが大切だと思いますので、ぜひこの大綱は、その部分もしっかり入ったものにしていきたいと考えております。</p> <p>その上で、子ども子育て支援新制度といった新制度になって、幼児教育の部分が大変複雑化してしまっていて、龍ヶ崎は以前から、就学、未就学で、教育委員会とこども課ではっきりと分けた部分もありますので、教育委員会とこども課との連携もその中にも含まれていくと思いますが、やはり国の制度も動向も見極めていかないとならない部分があると思いますし、これは幼児教育という面では、私は子ども子育て支援新制度の状況で大変保護者の皆さんにも分かりづらくなっているし、子どもたちもいろいろな制度によって、こども園や幼稚園、保育園だったり、いろいろな形があるので、その辺は国の方でも施策として、1本筋の通ったものにしてもらいたいというのは、私などの市長の立場としては、要望をしていかないといけないと思っています。</p>

	<p>それと、人づくりということですが、教育というのは勉強、宿題だけでなく、この人づくりが一番重要な部分だと思いますので、ここの基本理念の一番上に上げてあるので、これをいかに大綱の中で、表していくかということが、大綱の大事なところだと思いますので、ぜひ、その点は、教育委員の皆さんのお知恵がこの辺に生かされればよいと思いますので、よろしく願い申し上げます。</p> <p>よろしいですか。他に何か気づいた点はございますか。教育長の意見について事務局は何かありますか。それでは、御意見はよろしいですか。</p> <p>(特になしの声あり)</p>
<p>中山市長</p>	<p>一つは、今日の会議の目的でもございますけれども、この素案のたたき台骨子が手元の資料にあります、2ページ目にあります、仮称龍ヶ崎市教育プランの体系図案と、関連計画とのイメージ図がございますが、この左の紫の枠、緑の枠、青のマス、それぞれの図があります。このような形で事務局で、今後のたたき台を作っていくということで、進めさせていただきたいと思いますが、それに関しては何か御意見ございますでしょうか。これに関しては、このような形でたたき台を作って、議論の俎上に載せていく形でよろしいですか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
<p>中山市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、このような形で、次の会議に向けてのたたき台を作っていくということで、合意を頂きましたのでよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、皆様の合意を頂きましたので、資料2ページの体系図等に基づき、また、今日頂きました御意見等を反映しながら、次回の予定は11月下旬を予定しておりますが、それに向けて、庁内ワーキング等も含めながら、大綱の原案を作りまして、それで御審議いただくという形を採らせていただきます。</p>
<p>高橋教育委員長職務代理者</p>	<p>5本の柱は良いと思うのですが、先ほど委員長もおっしゃったとおり、他の市を見ても、義務教育とか子どもの教育にかなり重きがあって、この5本が全部同じというイメージだと、バランスが悪くなると思いますが、この5本はほぼ同じ扱いで作られるということですか。</p> <p>あと他の市を見ても、特にB市はほとんどが学校の話ばかりですし、C市も青少年とか学校の方が3分の2を占めていて、生涯学習の方とかは、少なめになっているので、この5本は中身が違うから5分の1ずつというわけではないという理解でよろしいですか。</p>
<p>中山市長</p>	<p>事務局、お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回はあくまでたたき台ということ出ささせていただきました、先ほど斎藤委員長がおっしゃったように、この中では義務教育が半分ぐらいのボリュームになってしまうことは予想される場所ですので、義務教育の充実の部分分割するとか、逆に他の部分を統合することは十分に考えられると思いますので、その辺も含めまして、検討させていただきたいと思います。</p>
<p>高橋教育委員長職務代理者</p>	<p>分かりました。お願いいたします。</p>

中山市長	それでは、事務局，続けてください。
事務局	<p>次回の11月を目標に，そのような作業をさせていただきたいと思います。総合教育会議の構成員の皆様におかれましては，後日，お気付きの点とか，新たな御質問御意見がございましたら，教育総務課あるいは企画課に，新たな御質問御意見を随時お寄せいただければ助かりますので，よろしく願いいたします。以上です。</p>
中山市長	<p>時間も参ったようですので，今日の会議はこれをもって終了させていただきたいと思いますが，今日の会議でも様々な御意見が出ましたが，事務局からありましたように，この場の会議も大切ですが，平素からお気付きの点などございましたら，連絡の取りやすい担当で結構でございますので，ぜひ御意見等又は御質問等していただければと思いますので，よろしく願いいたします。</p> <p>それでは，皆さんの御協力に感謝申し上げまして，議事進行の役割を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>